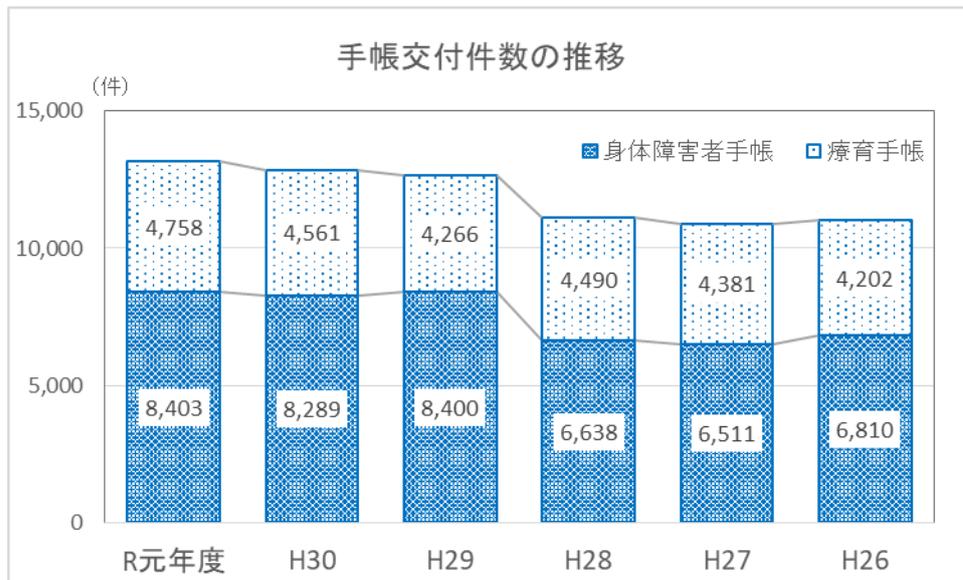


IV 過去5年分の統計及び参考資料

IV 過去5年分の統計及び参考資料

1 手帳発行事務

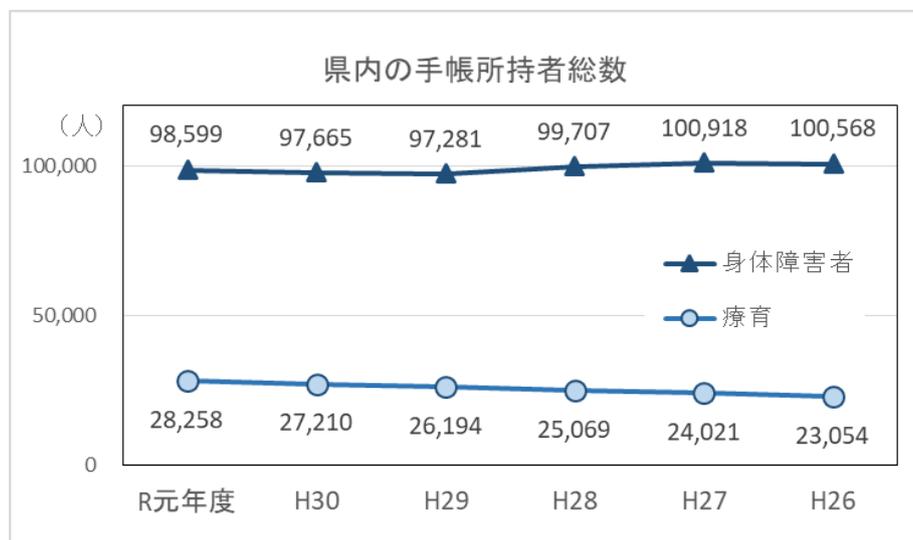
[手帳交付件数]



令和元年度の手帳交付件数は身体障害者 8,403 件、療育手帳は 4,758 件である。

	R 元年度	H30	H29	H28	H27	H26
身体障害者手帳	8,403 件	8,289	8,400	6,638	6,511	6,810
療育手帳	4,758 件	4,591	4,266	4,490	4,381	4,202

[手帳所持者総数]



県内の手帳所持者は、令和2年3月末で身体障害者 98,599 人、療育手帳は 28,258 人となった。

	R 元年度	H30	H29	H28	H27	H26
身体障害者手帳	98,599 人	97,665	97,281	99,707	100,918	100,568
療育手帳	28,258 人	27,210	26,194	25,069	24,021	23,054

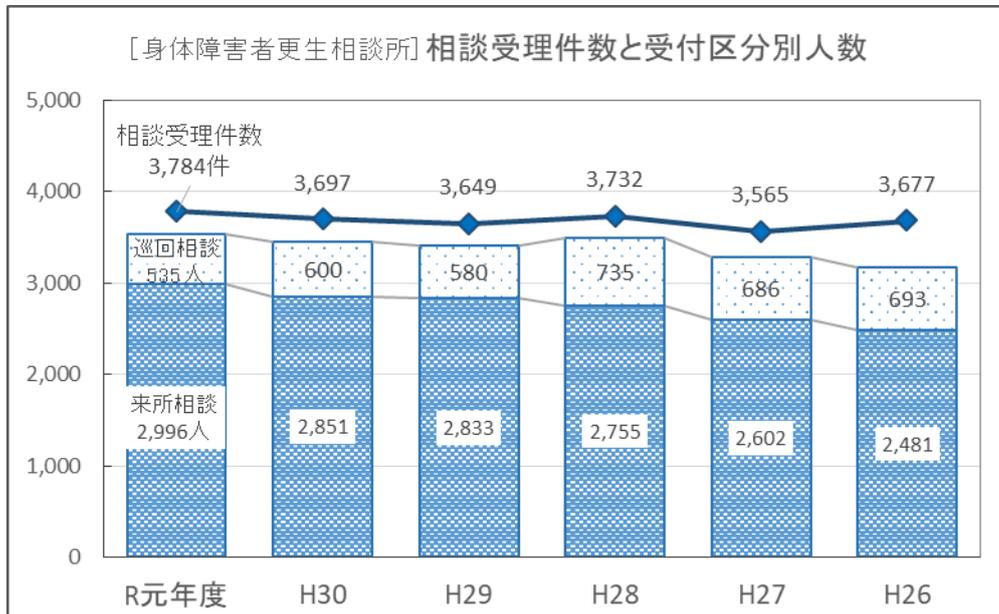
各年度末

2 更生相談所事務

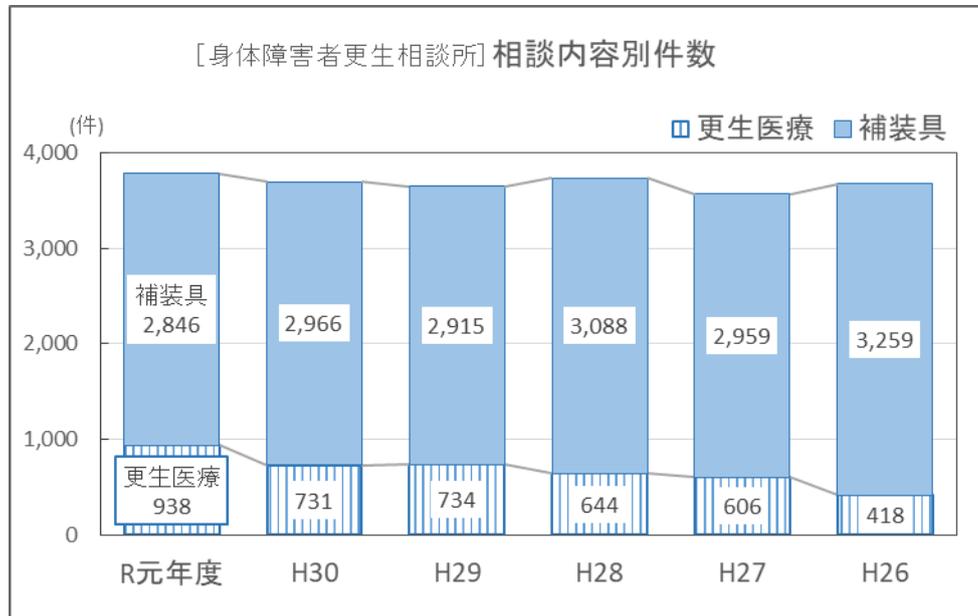
所管地域は、政令指定都市（横浜市・川崎市・相模原市）を除く市町村であり、市町村の求めに応じ対応する。

身体障害者更生相談所

[相談受理件数と受付区分別人数(実人員)]



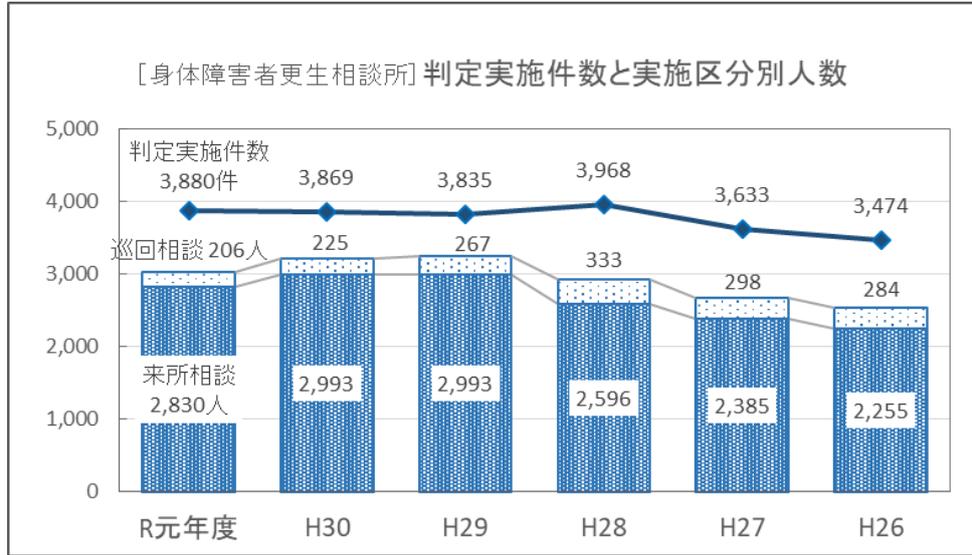
[相談内容別件数]



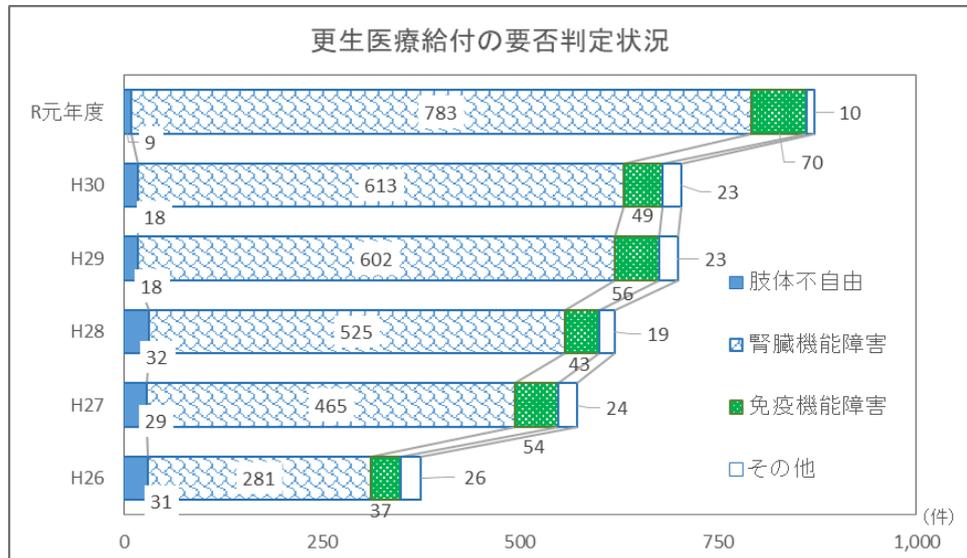
更生医療（自立支援医療）－ 疾病、事故、災害などによる身体的損傷に対して医療（一般医療）がなされ、すでに治癒（欠損治癒や変形治癒などの不完全治癒）した障害者を対象に、日常生活能力、社会生活能力、または、職業能力を回復、向上もしくは獲得させることを目的として行うリハビリテーション医療についての相談や給付の要否判定を行う。

補装具－ 作成や修理についての相談や、補装具費支給制度への意見書や要否判定を行う。

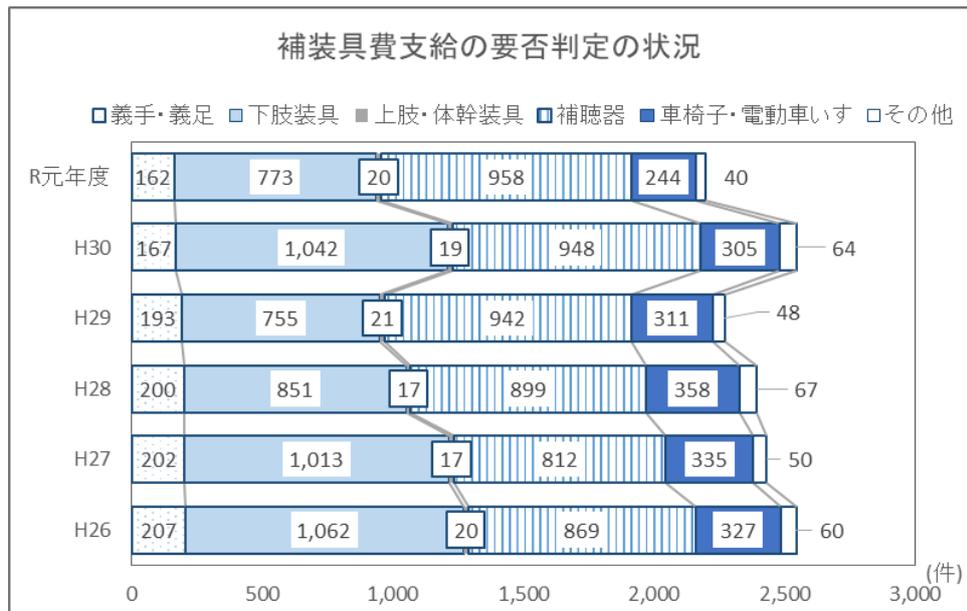
[判定人員と件数]



[更生医療給付の要否判定状況]

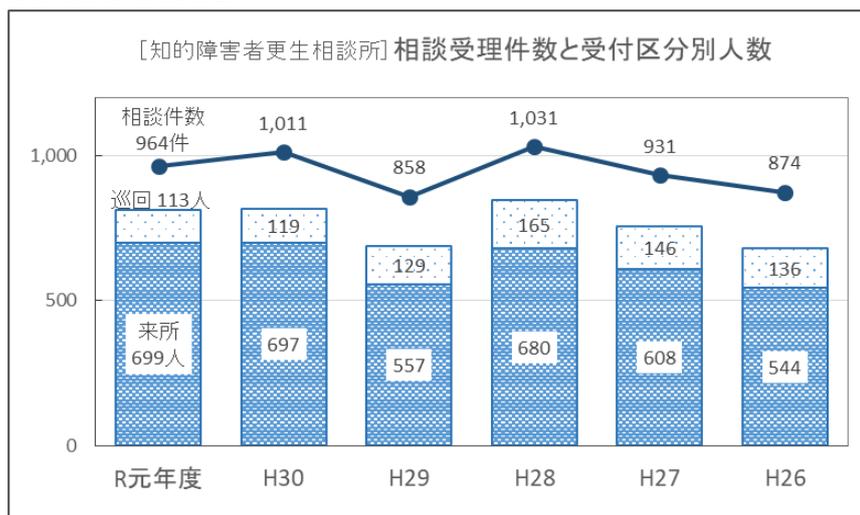


[補装具費支給の要否判定状況]

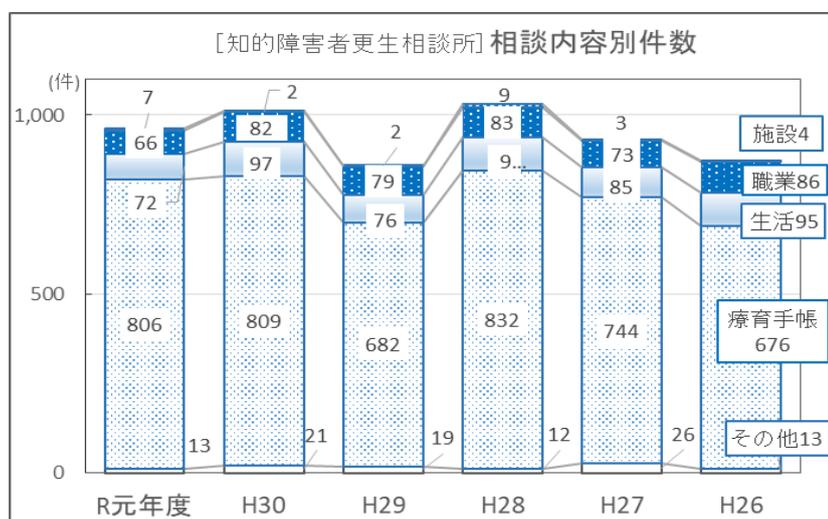


知的障害者更生相談所

[相談受理件数と受付区分別人数(実人員)]



[相談内容別件数]



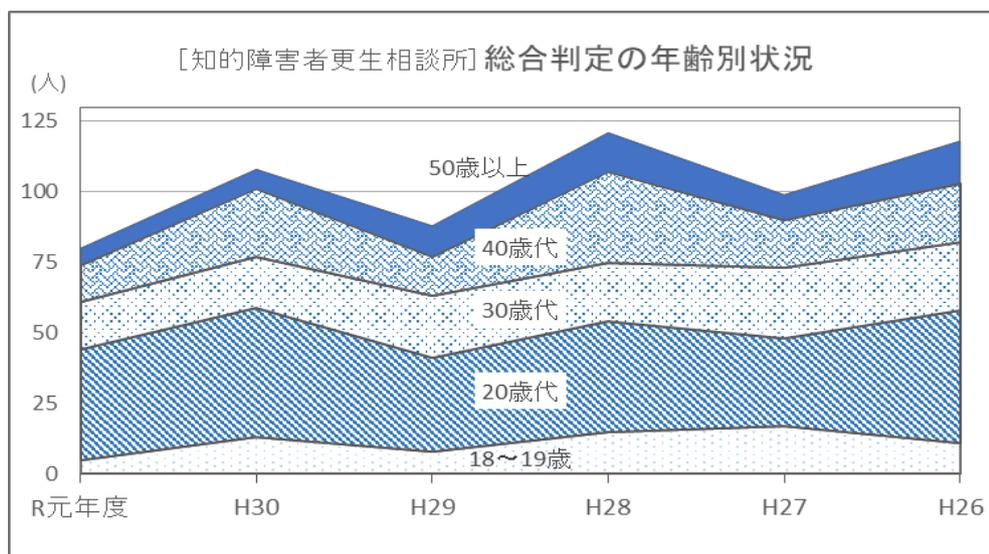
[内容別判定件数]

	R元年度	H30	H29	H28	H27	H26	
年度別判定件数	943件	1,019	853	1,046	934	897	
内訳	医学的判定	66件	101	83	104	91	110
	心理学的判定	778件	776	643	803	707	645
	職業的判定	65件	100	82	97	89	107
	その他判定	34件	42	45	42	47	35

[総合判定実施者の年齢別状況]

総合判定とは、支援方針等を検討する場合に医学的判定、心理学的・職能的判定を行う

	R元年度	H30	H29	H28	H27	H26
18～19歳	5	13	8	15	17	11
20歳代	39	46	33	39	31	47
30歳代	17	18	22	21	25	24
40歳代	13	24	14	32	17	21
50歳以上	6	7	11	14	9	15
計 (人)	80	108	88	121	99	118
うち再判定	9	5	3	9	10	4

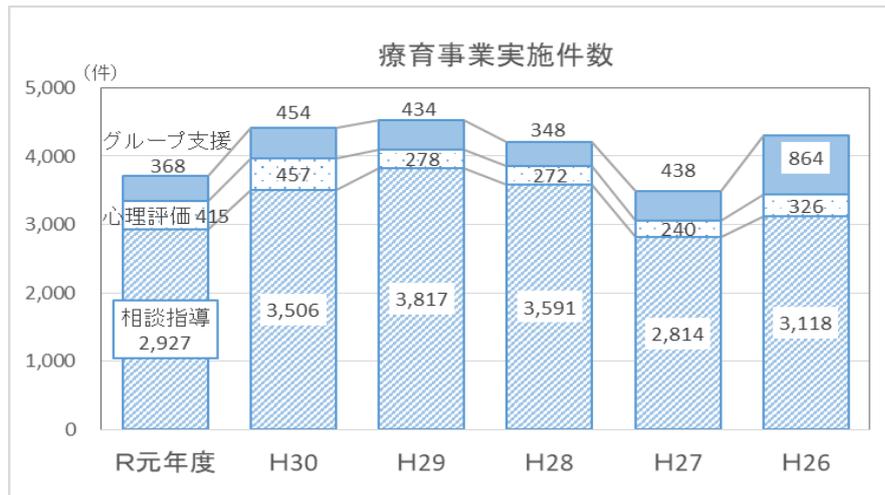


3 障害児等療育支援事業

事業名	内容	担当
巡回リハビリテーション事業	○障害児等に対する地域訪問によるリハビリテーション等の療育支援 ○地域の療育関係機関等の職員への技術支援等	医師、看護師、PT、OT、ST、心理職、CW
在宅重症心身障害児者訪問指導	在宅重症心身障害児者の家庭等を施設等の専門医師及び専門職員が訪問し、医学的並びに療育的見地から必要な助言を実施	医師、看護師、PT、OT、CW
早期療育外来事業		
個別療育	障害があるか、障害の可能性がある概ね3歳以下の乳幼児を対象に、診療・療育による発達の援助及び保護者等への支援を実施	医師、看護師、PT、OT、ST、心理職、CW
集団療育	○主に身体に発達の遅れがある2歳児と保護者等を対象とし、発達段階や特性に応じた様々な遊びや活動を通して心身の機能の発達を促すグループ活動 ○主に心身の発達の遅れや障害のある3歳未満の児童と保護者等を対象とし、様々な感覚遊びのプログラムを提供し、親子の相互交流が豊かになるよう支援する親子サロングループ	
発達障害等支援外来事業		
個別療育	外来診療、訓練を受けている概ね3歳以上の児童に対して、心理学的評価や相談指導、関係機関等との連絡調整などの相談、援助を行う	医師、看護師、OT、ST、心理職、CW
集団療育	主に発達障害のある、又は可能性のある就学前の児童とその保護者等を対象とし、発達に合わせたゲーム等のプログラムによるグループ活動	

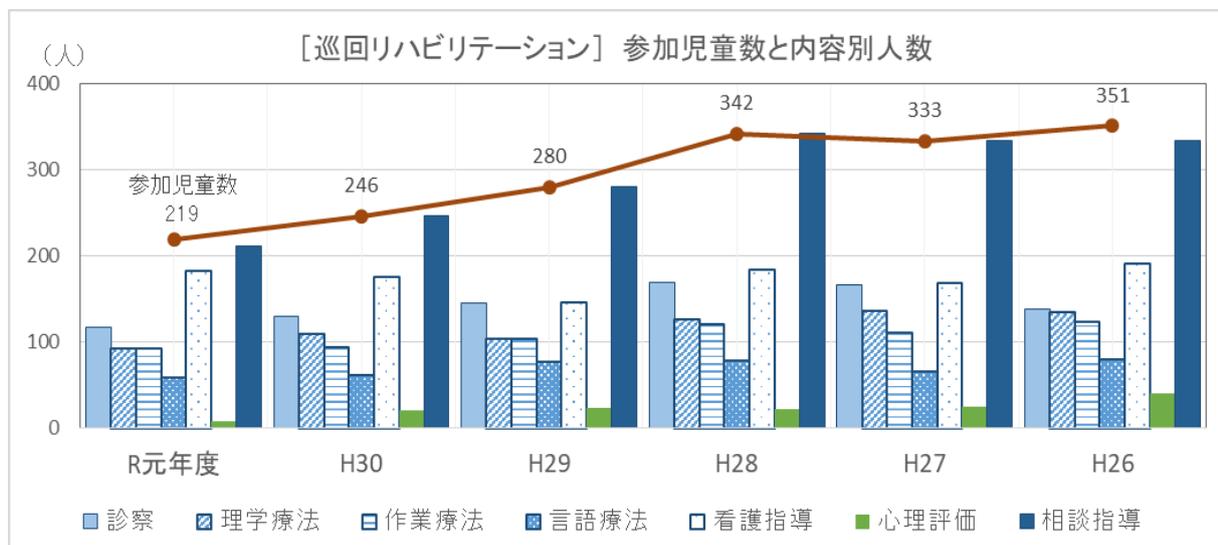
※担当の標記…PT (理学療法士)、OT (作業療法士)、ST (言語聴覚士)、CW (ケースワーカー)

[療育事業実施件数]



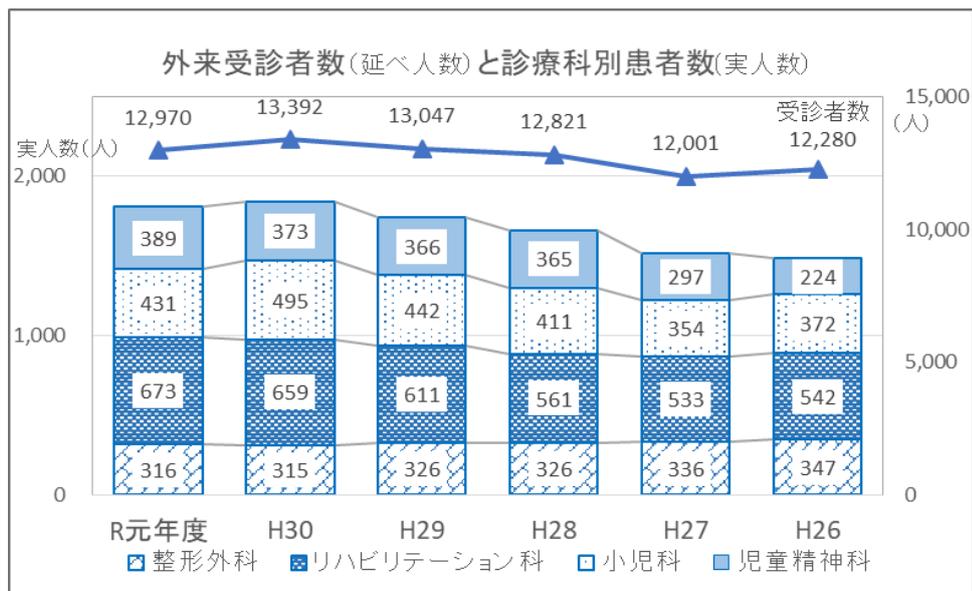
事業・対象区分		R元年度	H30	H29	H28	H27	H26
相談指導	入院(児)	162	240	160	300	120	181
	短期入所(児・者)	780	1,077	952	1,011	999	1,053
	療育外来(児)	739	683	749	620	552	689
	早期療育(児)	1,246	1,396	1,761	1,471	1,044	974
	発達障害外来(児)	133	110	195	189	99	221
	計	2,927	3,506	3,817	3,591	2,814	3,118
心理評価	入院(児)	1	5	5	13	2	13
	療育外来(児)	342	336	217	187	173	240
	早期療育(児)	72	100	36	38	45	53
	発達障害外来(児)	20	16	20	34	20	20
	計	415	457	278	272	240	326
グループ支援	外来グループ	75	74	79	73	81	112
	早期グループ	293	380	355	275	357	752
	計	368	454	434	348	438	864
合計		3,710	4,417	4,529	4,211	3,492	4,308

[巡回リハビリテーション実施状況]



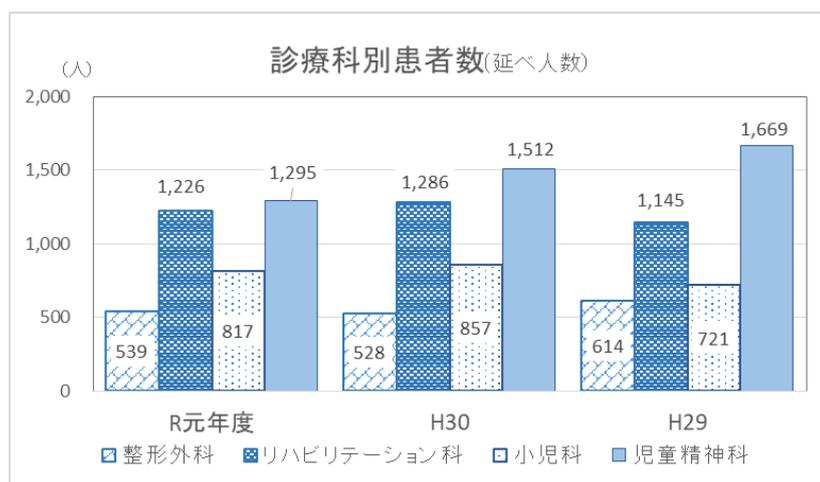
4 外来診療業務

[受診者数]



外来受診者数には、早期療育外来、療育外来等を含む各課専門外来と補装具外来を含む。

[診療科別患者数]



[診断書等発行件数]

	身体障害者 診断書・意見書	特別児童扶養認定・ 障害児福祉手当認定 診断書	国民年金 診断書	おむ つ 診断 書	その他	合計(件)
R元年度	90	136	25	2	47	300
H30年度	93	111	31	4	31	270

[補装具外来]

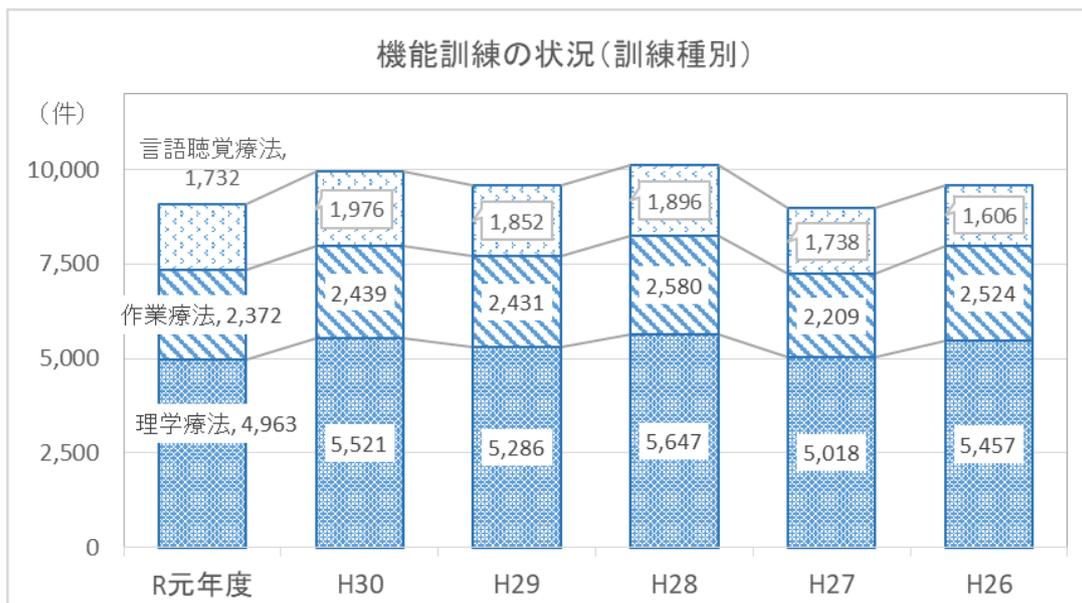
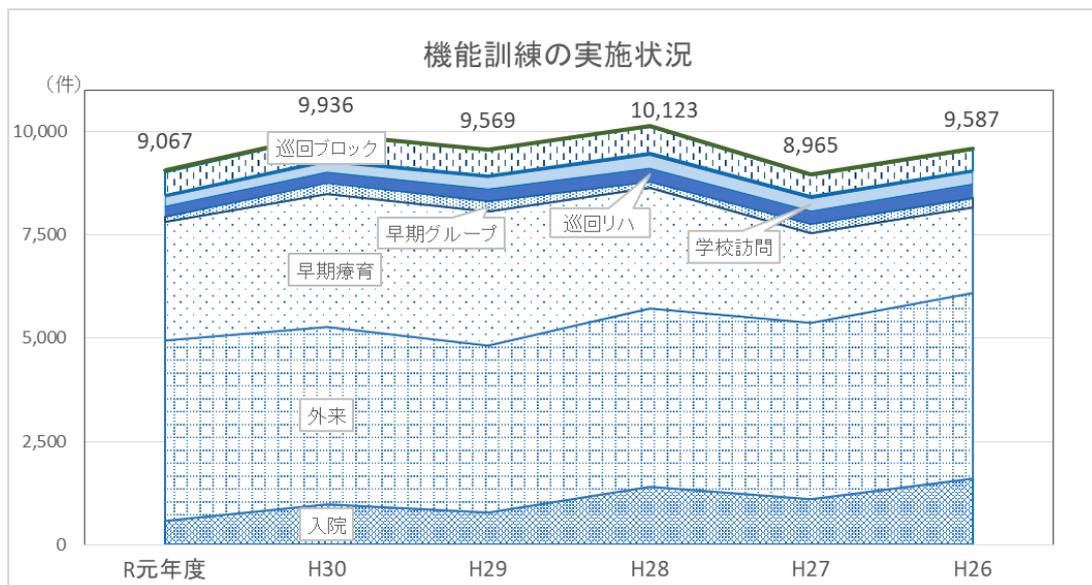
子どものリハビリテーションプログラムと成長に合わせ、立位・歩行や姿勢の安定、移動の補助等の目的で装具を処方・作製する。

毎週火曜日午後13時から17時で実施(整形外科・リハビリテーション科)

R元年度	H30	H29	H28	H27	H26
1,388件	1,357	1,346	1,226	1,216	1,296

5 機能訓練の状況

[機能訓練の実施状況]



種別	事業別	R元年度	H30	H29	H28	H27	H26
理学療法	入院	408	737	628	1,038	810	1,250
	外来	2,171	2,127	1,966	2,067	2,155	2,282
	早期療育	1,557	1,779	1,802	1,605	1,164	1,081
	巡回リハビリテーション	93	109	103	126	136	131
	学校訪問	111	109	118	136	181	165
	更生相談	22	37	28	32	36	30
	巡回ブロック	565	595	624	618	507	482
	県立施設支援	36	28	17	25	29	36
	計	4,963	5,521	5,286	5,647	5,018	5,457
作業療法	入院	168	212	154	297	220	315
	外来	1,169	1,116	1,087	1,165	1,068	1,270
	早期療育	851	935	994	904	747	729
	巡回リハビリテーション	92	94	104	121	110	123
	学校訪問	64	62	81	78	52	67
	更生相談	13	9	11	15	12	20
	県立施設支援	15	11	0	0	0	0
	計	2,372	2,439	2,431	2,580	2,209	2,524
言語聴覚療法	入院	2	29	9	77	71	30
	外来	1,025	1,055	973	1,076	1,043	950
	早期療育	459	486	445	393	250	262
	早期グループ	134	272	263	160	234	227
	巡回リハビリテーション	59	62	77	78	65	75
	学校訪問	49	65	80	100	68	56
	更生相談	4	7	5	12	7	6
	計	1,732	1,976	1,852	1,896	1,738	1,606
合計(件)		9,067	9,936	9,569	10,123	8,965	9,587

学校訪問—県立の肢体不自由児および知的障害児特別支援学校等を訪問し、在籍する学童の医事相談と教員等への自立活動支援を実施

巡回ブロック—補装具ブロック巡回更生相談を県内5カ所で実施

県立施設支援—子ども自立生活支援センター（子ども第一課～第三課）への支援。ただし、H28までは中里学園（乳児院へ）の支援。